

1. 略歴

1980.04	東京大学教養学部理科 I 類、入学
1982.04	同学部教養学科第一文化人類学学科、進学
1984.03	同学科、卒業
1984.04	東京大学大学院社会学研究科修士課程文化人類学専攻、入学
1986.03	同修士課程、修了
1986.04	同研究科文化人類学専攻博士課程、進学
1988.04	社会学研究科より総合文化研究科へ移管
1990.08	東京大学大学院総合文化研究科博士課程文化人類学専攻、中途退学
1995.11	東京大学大学院総合文化研究科、博士号（学術）取得
1994.04 - 1997.03	東京大学教養学部専任講師
1996.04	大学院総合文化研究科超域文化科学専攻専任講師に配置換
1997.04 - 2004.09	東京大学大学院総合文化研究科超域文化科学専攻助教授
2004.10 -	東京大学大学院人文社会系研究科基礎文化研究専攻助教授
2005.04 - 2009.03	国立民族学博物館文化動態研究部門客員研究員
2009.04 -	東京大学大学院人文社会系研究科文化資源学研究専攻准教授

2. 主な研究活動

多様な状況における文書・読み書き、その人間・社会との関係の研究

a 専門分野

b 研究課題

文化資源学（文書文化論）

主に発展途上国を念頭に置きつつ、広く文書・読み書きと人間・社会の関係について研究している。また、調査研究方法の検討、改善にも強い関心を持っている。様々なフィールド調査で得られるデータや知見を、言語能力、数的能力、道具使用等に関する認知科学や、文書をはじめとする認知的人工物（cognitive artifacts）の変化に関する歴史学的研究と有機的に接合することを目指して、隣接諸分野の研究者との共同研究にも積極的に取り組んでいる。

c 主要業績

(1) 学会発表

国内、中村雄祐、「巨大な絵図の共同調査—学際研究に関する一考察」、文化資源学会第 22 回研究会、2012.10.13

国内、中村雄祐、鈴木親彦、「文化資源学の射程—人文情報学のアプローチによる分析」、文化資源学会第 24 回研究会、2013.10.12

(2) 啓蒙

中村雄祐、「文化資源学 meets DH—ファースト・コンタクトの覚え書き」、『DHjp.』、No.2、60-63 頁、2014.2

(3) データベース

中村雄祐、「文化資源学修士論文分析用データベース」、2013.10～

3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

セミナー、Lighthouse・東大生の学びとキャリア、ミニ講義「論文ってなんだろう—文化資源の読み書き・大学編」、2013.5

(2) 学会

国内、文化資源学会、「文化資源学を支えるテクノロジー」分科会幹事、2013.4～